

日本宝くじ協会の助成を受け作成した、令和元年度「宝くじドリームジャンボ絵本」は、8月1日以降、全国1,400ヶ所の保育所及び認定こども園に贈呈され、各施設で活用されております。

子どもたちの喜ぶ笑顔が目に見え、各施設からいただいておりますので、ご紹介いたします。



● 令和元年度 『ポチが穴におちちゃった』

☆大きな絵本だと多くの子どもたちが見られ、CDCDの音楽効果もあり、普段の読み聞かせと違った雰囲気味わえることが素晴らしいです。

☆途中簡単な歌が入るので、子どもたちもすぐ口ずさみ、参加することができていました。内容もわかりやすく、長すぎず短すぎず丁度良かったと思います。CDのおかげで、子ども一人一人の反応を見ながら、保育士も楽しむことができました。

☆大きな絵本に子どもたちは早く見たい様子で、はじまると一つ一つの場面を一生懸命見ていました。動物たちの表情も可愛く、次の場面を楽しめるようになって良かったです。表紙も裏表紙もお話の一部になっていたのも良かったです。

☆大型絵本ありがとうございました。欲しくても高いので、なかなか手を出せずにいました。優しい気持ちがあり、伝えやすいというのが良かったと思います。私、個人的にはちいさい絵本の「発達障害児への気づきと支援について」が参考になりました。園でも年々増えているので勉強したいと思います。

☆物語の中に出てくる曲が子どもたちにとって覚えやすく、リズムに合わせて手をたたいたり口ずさんだりして楽しむ姿が見られました。CDに合わせた読み聞かせ、いろいろなBGMや効果音があってワクワクしながら見ることができました。

☆ストーリーの中の互いを認め合ったり、助け合ったりする場面が多くあり、子どもたちなりに考えられるきっかけになれたようです。とても温かいお話で、大型絵本なので、他の場でも活用していきたいと思います。

☆大きい絵本なのでクラスの中だけでなく、園児全員が集まった時にも読めるので、良いと思いました。ストーリーも分かりやすく、小さい子どもでも楽しめると感じました。

☆CDを使って読み聞かせをすることがなかったので、子どもたちも楽しんで見てくれていました。歌がたくさん入っていて、音楽も楽しんでくれていました。可愛い動物もたくさん出てきて、とても良い温かい絵本だったと思います。

☆話の内容がとても面白く、年齢が小さい子から大きい子まで幅広く楽しめる内容であり、大型絵本という特別感と音楽が入ることにより更に楽しさを増しているように感じました。文字がない分、イラストと音楽から物語の世界に入り込むことができ、また音楽も子どもたちと一緒に歌ったり、かけ声を繰り返して楽しめ、読み終わった後も音楽が頭に残るのか、鼻歌まじりで口ずさむ子も見られました。

☆大きい絵本を見る機会がなかなかないので、子どもたちにとって良い刺激になりました。また、音楽もその場面ごとに工夫されており、とても良かったと思います。内容も子どもたちに分かりやすく、言葉の繰り返しと軽快なテンポの曲で最後まで楽しむことができました。

☆話の内容が理解できる年齢と、絵の色彩や雰囲気や登場人物等が気になる年齢と様々なので、とても良かったと思います。CDもあるので、劇等の台本にもなりそうです。

